

令和 6 年 5 月 2 3 日

教 職 員

各位

大学院生

医学系研究科長

医学獣医学総合研究科長

大学院特別セミナーの開催について（通知）

標記のことにつきまして、下記のとおり開催いたしますのでご出席ください。
なお、大学院生については、当日出欠の確認をしますのご承知おきください。

記

日 時 : 令和 6 年 7 月 1 9 日（金） 1 7 時 0 0 分～

場 所 : 宮崎大学医学部講義実習棟 3 階 3 0 3 教室

講 師 : 小林 剛
(大阪大学微生物病研究所 教授)

演 題 : 「ロタウイルス研究の最近の進展」

講演内容 : ロタウイルスは乳幼児に下痢や嘔吐を引き起こし、医療の発展が遅れている開発途上国では、多くの乳幼児がロタウイルス感染によって亡くなっています。幸いにもロタウイルスに対する経口生ワクチンが導入されており、重症化予防に優れた効果を示しています。しかし、現在使用されているワクチンには改良の余地もあり、新しいロタウイルスワクチンの開発研究が継続して行われています。ウイルスのリバーシジェネティクス系とは、ウイルスゲノムに任意の変異を導入した組換えウイルスを人工的に合成する技術です。ロタウイルスのように 11 本に分かれた多分節ゲノムを持つウイルスでは、リバーシジェネティクス系の確立が遅れていましたが、2017 年に私達の研究グループはロタウイルスのリバーシジェネティクス系の開発に成功しました。この技術革新により、ロタウイルスの増殖機構の解明や新規ワクチンの開発研究は飛躍的に進んでいます。本講演では、リバーシジェネティクス系を用いたロタウイルス研究の最近の進展について紹介します。